

2024年3月4日（月曜）

全労金2024春季生活闘争ニュース・第6号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

中央・近畿労組の要求概要と交渉への決意を紹介します！

◎中央労組の要求概要

		中央労組								
		正職員 (要求範囲：全職員)	エリア限定職員 A 3～5、A L	有期労働契約職員 A 2 A 1		専門技術職 正職員 契約職員 嘱託職員			再雇用 A B C E F D G	
基本賃金	改善内容	12,000円	12,000円	時給額78円		12,000円	時給額78円	時給額78円	12,000円	時給額78円
	定昇相当額 (実在者平均)	3,000円	3,000円	時給額12円		3,000円	時給額12円	—	—	—
	合 計	15,000円	15,000円	時給額90円		15,000円	時給額90円	時給額78円	12,000円	時給額78円
	賃金改善率	4.97%	5.68%	5.79%		3.64%	3.97%	—	—	—
最低賃金		時間額1,200円、日額8,800円、月額184,800円への引き上げ								
一時金		4.7	2.0～4.7	制度化 (0.2)		制度化 (1.0)	制度化 (0.2)	制度化	前年実績	制度化
昨年実績		4.7	2.0～4.7	—	—	—	—	—	支給	—
安定雇用	無期転換	—	(実現)			—	—	—	—	
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)	—						
	育児時短	(小学校卒業まで)								
単組独自要求		有給休暇積立制度（積立年休）の制度拡充について、時間単位制度の新設、及び、使途条件の拡大を申し入れ								
関連会社		金庫に対し、申入書を提出								

《中央労組・福永書記長（写真は前列右から2番目）の決意》

中央労組は2024春季生活闘争について、「賃金は上がるもの」から「賃金は上がり続けるもの」といった意識に変えるための踏ん張りどころであり、まさに「正念場」として捉え、闘争を展開していきます。

具体的な基本賃金の要求額は、正職員組合員（嘱託等組合員は除く）の2023年度平均賃金の5%である15,000円を求めます。



内訳は、2022年度人事評価による賃金改定額を定期昇給維持相当分とみなし、実在者平均を約 3,000円と算出したうえで、一律12,000円の引き上げを求めます。

単組のキーワードである「全員参加」「進取果敢（しんしゅかかん）」を実践するため、組合員一人ひとりが2024春季生活闘争を自分ごとと捉え、これまで以上に「職場と一体なった取り組み」を力強く進め、主体的に春季生活闘争に参画することをめざし、全組合員が闘争委員を「応援する」のではなく、闘争委員と「共に闘う」といった意識を持ち、一丸となって春季生活闘争に臨みます。

全組合員の総意を持って確立した要求項目に拘りを持ち、全国の仲間とともに、最後まで諦めず闘い抜くことを誓います。ともに頑張りましょう！



◎近畿労組の要求概要

		近畿労組（金庫）				近畿労組（関連）			
		正職員 (要求範囲：組合員層)	準職員			再雇用 嘱託職員	正社員	契約社員	嘱託社員 特別嘱託社員
			A	B	C				
基本賃金	改善内容	6,000円	9,000円			9,000円	－	－	－
	定昇相当額 (実在者平均)	6,000円	2,500円			－	－	－	－
	合　計	12,000円	11,500円			9,000円	－	－	－
	賃金改善率	4.0%	5.0%			－	－	－	－
最低賃金		時間額1,200円、日額8,800円、月額184,800円 への引き上げ				時間額1,200円、日額8,800円、月額 180,410円への引き上げ			
一時金		4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2	1.0	週5日：80,000円 週4日以内：50,000円	
昨年実績		4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2	0.96	週5日：78,000円 週4日以内：46,000円	
安定雇用	無期転換	－	(実現)			－	－	要求	
雇用環境	私傷病休職	－	(実現)			－	－		
	育児時短	(小学校3年生まで)				－	(小学校3年生まで)		
単組独自要求		－	－	－	－	－	－	－	－

《近畿労組・村松副闘争委員長（写真は左から2番目）の決意》

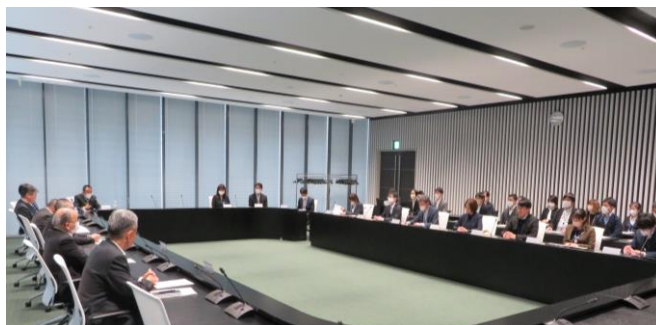
近畿労組では、2月17日に開催した第3回中央委員会において、2024春季生活闘争方針を全会一致で確立しました。

具体的には、基本賃金の改善について、定期昇給維持相当分を含め、正職員組合員は12,000円（改善率4%）、準職員組合員は11,500円（改善率5%）、再雇用嘱託職員組合員は9,000円を要求します。



2024春季生活闘争においては、物価上昇への対応や、労働組合としての社会的役割の発揮、人財の確保と定着化、組合員のモチベーション向上等の観点から、基本賃金の改善を実現していく必要があると決意しています。また、ジェンダー平等社会の実現に向けては、男女間賃金格差の是正も非常に重要であり、女性割合が圧倒的に高い準職員の基本賃金の改善にも、拘りを持って交渉に臨まなければならないと考えています。

2024春季生活闘争で掲げるすべての要求を勝ち取ることが、懸命に業務を遂行してきた組合員の働きがいやモチベーションを高めるとともに、近畿労金の将来・未来や社会全体の好循環に繋がっていくものと信じ、全労金に結集する全国の仲間とともに、最後まで闘い抜く決意です。ともに頑張りましょう！



以 上

《全労金のSNSでも紹介しています！》

☆ 全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)

☆ 全労金Facebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>)



※次号は3月5日に発行します！